

辞書引き遊び

辞書を使った2種類の遊びを紹介します。
脳を使うことで認知症の予防効果があります。



ジャンル 認知症予防 ゲーム

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度3 所要時間 30分～1時間

性別 男性  女性  どちらも好評です 人数 2人～

道具 (一人当たり予算0円)

辞書 3冊
(種類は違っていても良い)

注意点・追加ルール 辞書の端で指を切らないように注意してください。

期待効果
認知症予防
気分転換
利用者通しのコミュニケーション

1 利用者さんが1対1で競争します。他の利用者さんは観客として周りに集めておいてください。
それぞれの利用者さんと職員1名に辞書を配ります。

2 観客にお題の単語を決めてもらうか、職員の方がその場で開いたページの単語を探してもらうレクです。
見つけたら手を上げてもらい、職員に指名されたら意味を読み上げます。確認して合っていれば勝ちです。

3 負けた人が交代する負け抜け方式等プレーヤーを変えて挑戦してください。
辞書が準備できるようにできれば、複数人で競ってもいいでしょう。
言葉の意味を学べるし、説明する方は読む力もつきます。

4 もう一つは1冊の辞書を使います。
利用者全員参加でできます。

5 職員が適当に開いたページの言葉の意味を読み上げます。大抵の場合いくつか意味が載っていると思うので、連想されにくい意味から読み上げます。わかった人が挙手して答えていきます。

6

相談し合ってもらうことでコミュニケーションも取れる。
ヒントが少ないうちに正解した人に多くポイントを与え、終わった時にポイントが多かった人の優勝です。

7

認知症予防には脳を使ったり会話をするのが大切です。毎日続けられなくても、たまにするだけでもいいのでお試しあれ。